

## 商

## 況

## 昭和12年12月中鐵鋼關係日誌

1日 電氣事業法による全國電氣料金の更改が實施せらる。

○滿洲國の治外法權撤廢並に満鐵附屬地行政權移讓實施さる  
○帝國政府はフランス政權をスペイン國政府として正式に承認するに決す。

○11月の東京卸賣物價指數は前月に比し微騰状態に止つてゐるが、全般的に實勢に應じての上進氣運が伺はるも浮動的の思惑が自制されつゝあり、騰貴せる商品の隨一は鋼板類で北支向需要激増で品廻り悪くトタン、生子板は1割ブリキ板は5分の騰貴、釘針金連れて各々3分の上昇を示す。

○金壇城、丹陽停車場を占領す。

2日 滿洲國政府はスペイン・フランス政府をスペイン國政府とし承認しフランス政府も又滿洲國を承認することに決す。

○フランス將軍は統領就任を宣誓し新スペイン政府成立す。

3日 米國商務省發表 10月中の同國鐵鋼類輸出高は次の通り、各品共日本向輸出が第1位を示してゐる。

銑 鐵	9 月	64,945	鋼 板	9 月	43,200
	10 月	66,000		10 月	59,085
	日本向	37,388		日本向	21,333
鋼 塊	9 月	20,687	屑 鐵	9 月	256,191
	10 月	35,948		10 月	186,000
	日本向	27,456		日本向	61,665

○伊藤宗二商店は株式會社へ改組し資本金1,500,000圓(拂込済)取締役社長伊藤宗二氏、取締役は伊藤テル氏、伊藤俊太郎氏、監査役は奥村秀一氏、伊藤宗一氏。

○紐育市場は諸株保合乃至6弗方昂騰した。鐵鋼株は手控へてゐた筋から新規買物が出るだらうと見られる事、製鋼作業率も上向き歩調に轉ずるだらうとの期待より2弗7/8高の57弗1/8。

4日 本年7月を100とする全國主要24市平均の11月分勞働者生計指數は101.8で10月と保合、又全國主要10市平均11月分給料生活者生計指數は101.6で10月より2厘の低下。

5日 句容を完全に占領す。

○英國勞働省調 11月15日現在の同國の失業者數は1,499,203人と見積られ10月8日現在より108,954人の増加を示す。

6日 今週の米國製鋼作業率は27.5%で前週より2.1%減で1934年11月第2週以來の最低率を示す。USスチール株も一時小康を得たるも又2弗1/4安の56弗1/4。

○英外相イーデン氏は下院に於て日支紛争に重大關係を有する列國とは緊密なる連絡を保ち協議すると言明す。

7日 米國の屑鋼市場は久しく不振商狀を呈してゐたが、若干の製鋼會社の屑鋼に買氣を示し始めた。これは茲1-2月來初めての現象で屑鋼市況回復の徵を示すものとして注目されてゐる。

○本日入電の外註値段次の如し。

(Official price) Round Bars £12-4-6 ¥212'07 Angles £12-4-6 ¥212'07 Plates £14-1-0 ¥243'36 (Syndicate specialprice) Round Bars £11-4-6 ¥194'89 Angles £11-4-6 ¥194'89 plates £12-1-0 ¥209'03 Landing

charge ¥250 Interest 15% Exchang @ ½-0

○米國國務省軍需品統制局は來年のブリキ屑生產高が減少を豫想されるの理由を以て來年中のブリキ屑輸出高を生產高の25%に引下げる旨發表した。因に其購買量の最大は日本である。

○紐育發 銑鐵(第2號鑄物用)24弗、ビレツツ(ペセツマーベ)37弗、スチールバー(ベース)2弗45、スチールシエーブス(ベース)2弗25、プラツクシート24番、3弗15、亞鉛引シート(24番)3弗80、ブリキ(プラツクベースボツクス)5弗35

○大本營陸軍部發表 南京に向ひ進撃せる我第1線諸部隊は棲霞山(南京東北約18km)青龍山(南京東方8km)方山(南京東南15km)に亘る敵の本防禦線を占領。南京城攻略の態勢を完成す。

○宣城を占據し南京の敵の鐵道及自動車道路による後方退路を遮断す。

8日 鎮江縣城を占領す。

9日 松井最高指揮官は本日正午飛行機により南京防衛司令官に對し投降勸告文を投下せしめ10日正午迄に回答を要求せり  
○蕪湖を占領す。

○費府渡の屑鋼相場は製鋼工場筋の若干の買付及輸出向け買物の爲1t當50仙の騰貴となる。

○紐育發 銑鐵の生產は急減し11月中に閉鎖された熔鑄爐數は38にも上る。

○英國鐵鋼協會調 11月中の英國銑鐵生產高は762,000t前月より8,000t減。鐵鋼生產高は1,178,000tで前月より44,000t増、過去の記録の9月中生產1,163,000tを更に上廻り未曾有の巨額を記録す。

○大阪伸鐵12月第2回賣出値段は丸鋼の36''8圓上げ、他は全部9圓上げと發表。

10日 南京の敵は回答期限たる本日正午に至るも何等の回答を爲さざるのみならず却つて今朝來猛烈に反撃し來たりたるを以て我軍は午後1時一齊攻撃を開始す。

○午後5時南京城光華門を占領し城壁高く日章旗を翻へせり

○本日入電の外註値段次の如し(2,240lbs, 括弧内は河岸着1t當値段。)

Joists	\$52'192 (¥185'60)	Channels	\$53'20 (¥189'14)
Angles	\$56'336 (¥200'14)	Round Bars	\$55'664 (¥197'79)
Plates	\$54'32 (¥193'07)	Semi Steel	\$41'35 (¥147'52)

○英米商品價格指數 英國は1913年9月18日を、米國は1931年末を100とす。(英ロイター社調、米ムーデー社調)。

英 本月	151'7	11月10日	153'2	昨年12月10日	169'5
米 同	148'5	同	152'3	同	196'9

11日 米國鐵鋼協議會發表 11月中の米國銑鐵生產高は2,007,000tで前月より886,000t減、同鐵鋼は2,154,000tで前月より1,239,000t減。

○U.S.スチール會社發表 同社の11月中鋼材引渡高は587,000tで前月より205,000tの減。

- 11月の全國生計費指數は 195.5 で前月より 0.1% の微騰である。
- 伊國は國際聯盟を退脱す。
- 12日 我海軍航空隊は支那軍が南京より汽船にて脱出上流に向ひつゝありとの報に接し、之が追撃に向ひ誤認により附近に在りたる米國砲艦を沈没に至らしめたり。
- 13日 大本營海軍報道部公表 今夕 5時我軍艦は南京に到着直に下關碼頭附近の敵密集部隊に猛烈なる集中砲火を浴せ之を殲滅中なり。
- 揚子江北岸浦口を完全に占領す。
- 大本營陸軍部發表 本日夕刻敵の首都南京を攻略せり。
- 米國國務省は砲艦沈没事件に就き我政府に對し、公文書により遺憾の意を表明し、完全且つ包括的な賠償を行ひ、今後米國民の在支權益並に財産が如何なる場合にも日本軍の攻撃を受けぬやう決定的且つ特殊な手段が採られ保障をなすことを要請し期待する旨抗議通牒を手交した。
- 14日 銑鐵共販では次期(1-3月渡)建値は t 當 81 圓据置と決定
- 英國商務省發表 11月中に於ける英國より日本へ輸出したブリキは 329t。
- 馬場内相は病氣の爲辭職し後任は内閣參議海軍大將末次信正氏と決定親任式舉行さる。
- 我外務省は米國軍艦不祥事件に對し驚く陳謝の意を表明し責任者は適切處置をなし損害に對しては補償をなす旨發表す。
- 鋼板共販理事會開催 値段は据置。
- 15日 今週の米國製鋼作業率は全能力の 27.4% と見積られ 1934 年 11 月第 3 週以来の最低率で前週より 0.1% 減。
- 紹興發 層鐵相場は若干の工場筋の買と間屋筋の思惑的買進あり半弗方騰貴し、銑鐵は英國の相場が昂騰したのと米國で値引商談に應ずる氣構が多くなつた爲輸出引合は見直した。
- 第 4 回鐵鋼協議會總會開催 同會の擴大強化に就き懇談し其改組の立案は理事會に一任の事に決定。
- 倫敦外國爲替市場に於ける法貨は今週に入り一齊に軟化の歩調を辿り英佛爲替は前週末の 147 法 06 より 147 法 28 に昂騰。
- 線材 棒鋼共販理事會開催、値段は据置。
- 本日入電の外註値段次の如し。
- |                    |                |                            |           |         |         |        |
|--------------------|----------------|----------------------------|-----------|---------|---------|--------|
| Dealers price      | Official price | Syndicate<br>special price |           |         |         |        |
| Ronnd Bars £11-7-0 | ¥197.03        | £12-4-6                    | ¥212.07   | £11-4-6 | ¥194.89 |        |
| Angles             | 11-7-0         | 197.03                     | 12-4-6    | 212.07  | 11-4-6  | 194.89 |
| plates             | 18-0-0         | 225.32                     | 14-1-0    | 243.36  | 12-1-0  | 209.03 |
| Landing charge     | ¥2.50          | Interest 1.5%              | Excheng @ | %       |         |        |
- 16日 天津在秦皇島兩海關稅務司は平穩裡に中華民國臨時政府の管下に入る事に決した。海關行政については現行稅率は當分據置とするも極端に歪曲された不公正の項目に就いては修正を加へ公表する事に決す。
- 形鋼共販及 12-1 月積第 5 回帶鋼共販理事會開催 値段は何れも据置。
- 17日 米國商務省發表 10 月中米國より日本へ輸入した亞鉛引鐵板 15,000 lbs, 黑板 1,356,000 lbs, ブリキ 6,119,000 lbs.
- 午後 1 時 35 分南京入城式舉行さる。
- 電力國策要綱は閣議に於て正式承認さる。
- 今月の S S 會賣出協議會開催 値段は据置。
- 半製品共販理事會開催、値段据置。
- 18日 松井最高指揮官は重ねて全支朝野の反省を求める皇軍今後の行動につき不退轉の決意を表明した。
- 青島に於て支那軍の同地邦人紡績工場放火事件あり形勢俄に悪化し戒嚴令が宣布されたりと。
- 19日 香港駐在鈴木少佐は支那暴民數名に襲撃され負傷す。
- 20日 國民政府は過般北京に樹立された中華民國臨時政府を否認する旨聲明を發表したりと。
- 今事變の最初の戰果の具體化として製烟鐵鑄の開山祝典舉行さる。同鐵鑄の八幡製鐵所への積出は毎月 600 t の計畫で、當分は年產 200,000 t, 明年 6 月より 350,000 t, 明年末には 500,000 t 迄増産、最終目標は年產 1,000,000 t の計畫である尙同鐵鑄の含有量は 53-70% で其の埋藏量は既調査のもので 200,000,000 t, 未調査のものを加へれば 500,000,000 t, なりと。
- 鋼材市況は自重申合せで表面冷靜化す、然し依然たる品拂底に依り底意耽り、成行は大體不變。但ノミナル物は申合せ最高値段の 30 圓を唱へる方が適應性ありと云はれる。
- 滿洲國新關稅法公布さる昭和 13 年 1 月 1 日より實施に決定。
- 滿洲國重工業開發株式會社管理法公布され 27 日より實施に決定。
- 2 月債三 S 會及 2, 3 月積美板會賣出協議會開催、三 S 會は値段据置、美板會は賣出延期。

## 12 月爲替相場

上旬 中旬 下旬

區分 月日	對英	對米	區分 月日	對英	對米
12. 1	½-0	29-½	12. 11	½-0	29-½
2	"	"	13	"	"
3	"	"	14	"	"
4	"	"	15	"	"
6	"	"	16	"	"
7	"	"	17	"	"
8	"	"	18	"	"
9	"	"	20	"	"
10	"	"			

## 大陸情況

## 最近の白耳義商況

買手の見送り態度に惱み抜いてゐた白耳義鐵鋼市場も、11月半ば頃に至て其の軟弱傾向を漸く喰ひ止め得たかの觀がある。

此の好ましき様子は、次の如きカルテルの處置に依りなされたものであらう。

1. 棒、形及板の極東向は(日本、支那、滿洲)米國品との競争上カルテルは値引を許可するに至た。

2. 黒板に付き、白耳義共販は組合員に對し盟外業者や再壓延業者との對抗上値引を承認せり。

此等臨機の處置は来る 22, 3 日の兩日巴里で開かれるカルテルの會議を見越して採られたものであらう、此會合に議題となるのは値引問題の外米國品の進出に對する問題が主要な者と見られてゐる。

即ち米國品の競争は、主として厚板がスカンヂナビヤ方面と和蘭、中板は南阿、黒板は南米諸國等の如くであり、其他海外全市場へ一般的に進出を見てゐるのであるが、最近に於ける米國製鋼作業

率(11月中旬 36.5% 12月第1週は 27.5%)は急歩調の低下を示してゐるので、米國の業者等も今迄の如き安値賣りはしないであらう、一説に依れば厚板の輸出値段は確當り 3~4 弁の値上りを示してゐるとの事である。

歐洲市場に對するカルテルの態度は依然として價格の維持と統制の強化が根本的方針であるらしい、然し乍若しも價格の不安定が目立つとすれば、それはカルテルが新らしき購買力の指揚に成功したものと見るのが妥當であらう、消費筋は過去 2, 3 ヶ月の間買ふ事に躊躇してゐたが、今や實際の入用に迫られて居り、他方カルテルのアウトサイダーや米國の競争に對抗せんが爲の値引賣り等に依り、今日迄注文を避けてゐた買手も遂に根負けをした格恰である。

自耳義共販の受注高は新たなる發展を見つゝあるが、國內需要が振はなかつたので、總計に於てはさしたる増加は見られなかつた譯である。斯うした國內向注文減少の原因は、過去 2, 3 ヶ月前よりメーカー等は期限前に荷渡を行つて來た關係上商人等の手持在庫が相當量に昇つた爲であると見られてゐる。10, 11 月前半の受注高を比較すれば次の如くである。

1 日~16 日	10 月	11 月
輸出國	37,400	43,000
内向	19,600	15,000
計	57,000	58,000
半棒形厚薄	22,000 16,500 4,000 12,500 2,000	16,500 27,500 2,500 9,100 2,400
計	57,000	58,000

即ち成品の受注高は 10 月 35,000 t であつたが 11 月 41,500 t となつて稍々好轉を思はせてゐる。

### 11月18日 ブラツセル市況

銑鐵 1 日平均出銑高は 10 月 11,400 t に對し 11 月現在までの平均 11,900 t で日產 500 t 増となつてゐる。

鑄物用銑は來年の 1 月半頃迄賣り盡してゐるが、生産高は非常に少い。

鑄物用 3 號銑 4'10'0 (紙幣) F.O.B ヘマタイト 1,025-1,075 白耳義法 F.O.B アントワープと何れも前週より高く、佛蘭西、和蘭、ソヴエトイ等の競争があるにも拘らず相場は堅調である。

成品、棒鋼 壓延業者等は 5'14'0-5'15'0 (金貨) F.O.B を唱へて居る。カルテルは亞爾然丁向に對して 10 志 (紙幣) の値引を承認したとの事であるが、それでも尙米國品の C.I.F 値段より 5 志高である。極東向は米國品との競争上 12 志 6 片 (金貨) F.O.B の建値切下げを行つた。

三番アインアンバー 商内無く、相場もノミナルの 8'15'0 (紙幣) F.O.B である。

形鋼 依然として薄商内を續けて居るが、極東向に對しては 5 志 (金貨) の値引が承認された。

帶鋼 商内は閑散であるが、値引は行はれてゐない。コールドロール物は特殊の取引を限り 3 志 6 片から 5 志 (紙幣) 位の値引に應じてゐる様である。

厚中板 買手は来る可きカルテルの巴里會議まで注文を見せてゐる様であるが相場は好調を持續してゐる。

黒板 白耳義、佛蘭西の再壓延業者等及米國品の競争は愈々激しくなりつゝある爲、白耳義共盟は手堅い注文に對しては値引を許可するに至つた。

亞鉛鍛板 數日前より俄に需要の擡頭を見るに至り、相場も今迄

は米國品との競争上 30 志 (紙幣) の値引を見てゐたのであるが、現在では 20 志引に止まつて居り、一般賣りに對しては建値を維持してゐる様である。

### 歐米鐵鋼業者間の協定

大陸鐵鋼界は最近目覺しき進出振りを示してゐる米國品の競争に遭ひ、之が對抗上便法は個々の組合に依り爲されてゐたのであるが、カルテルは統制的對策を得んが爲、臨時會合を 11 月 22, 3 の兩日巴里に開催せり。

會議には豫期の如く米國業者代表も出席し、先づ第 1 段階として、大陸鐵鋼業者 (米國を加ふ) 側との間に、部分的ではあるが、特定海外市場への販賣及價格に關し、政治的協定が成立した事は、大陸及英國の各紙がカルテルのコンミニケとして報導してゐる所である。

協定の詳細に就きては未だ發表無きも、大體次の諸點の如く見られてゐる。

1. 英國、大陸鐵鋼協約に米國鐵鋼業者側が公式に參加する事は疑ひ無き所である。然し乍ら協定さるゝ品種は國際共販組合の統制品種たる半製品、棒、山、形鋼、钢板となるであらう。

2. 協定の成立したのは、今迄の所では造船用钢板のみで、相方一値段にて出す事となり、現在の英國及大陸側の建値より稍々安値となるであらう。

3. 和蘭、瑞典、諾威及丁抹向の造船用钢板は建値より 2~0~0 (紙幣) 引となつた。普通钢板は一時的に賣止めとなつたが、12 月 8, 9 日デュッセルドルフで開かれるカルテルの次期會議迄の暫定的採り決めであらう。

4. 英國及大陸と米國よりの輸出値段を統制せんが爲に、相方より成る委員會が設置せられるが、此の委員會は主として造船材料以外の钢板及薄板に付協議し、次回の會議に米國代表の參加を得て、値段に關する具體的協定が成立する事となるであらう。

5. 數量の比率に關する協定は未だ爲されて居らず、此の問題に對する交渉は後廻しとされるであらうとの事である。

6. 此に述べた以外の品種に對する交渉の時期は不明であるが、遅くとも今年末迄には決定を見たいとの各方面の要望である。

7. 現在交渉に參加してゐる米國側業者はユー・エス・スチール會社、ペツレヘム・スチール會社及某三流會社との事である。

(12 月 27 日ブラツセル發)

### 英國の鐵鋼價は 1938 年中据置と決定

英國の製鋼用銑鐵組合は 1938 年 6 月 30 日迄、製鋼用銑鐵の現行値段を据置とする旨發表せり。その爲製鋼 9 組合は旁々英國鐵鋼聯合會よりの勸奨もあつたので、遂に鐵鋼成品の建直を 1938 年中据置と決定するに至つた。

斯の如く長期間に亘る値段の据置が前以て爲された事は空前の事である。

之に對する英國鐵鋼聯合會の發したる聲明一節は「最近世界の情勢は可成りの動搖を見せて居るにも拘らず、英國内に於ける鐵鋼の需要は些かも減少を示して居ない。原料品は引續き値上り傾向を辿つて居るも、鐵鋼業界は現在の好況を將來迄持続したき希望を持て居り、復原料費高と云ふ負擔も關係會社の協力に依て輕減し得るものであるとの事に依り大いに元氣着けられて居る。」

尙協定に依れば前述の如く鐵鋼成品の値段は据置となつたのであるが、1938 年 12 月 31 日以後の受渡も係るものは其時の値段に依る事となつた。(11 月 15 日スチール誌、11 月 25 日アイアン。

エーデ誌)

### プラッセル通信

11月13日發信輸出向市況は目下波靜を極め居り候へ共一般に程なく活況再來を期待致居り候何分夏頃迄では未曾有の大景氣なりしも、國際政況案じやら米國に於ける諸原料市價の崩落等の惡材料出現せりとは云へ、鐵鋼材の世界に於ける實需要は決して減少せる次第にあらざるは明白にして、買手筋のカルテル公定相場引下期待は既報の通りワルソー會議の結果實現薄と相成り候へ共、一方米國メーカーの競争將又佛國加工業者の安値オツファー等問題となり此等は来る23日の巴里會議の議題となる手筈に御座候。

10月中白耳義製鋼量 345,000 t (9月中 343,000 t) — 去年同期 290,000 t — なるも本月よりはワルソー決議により 270,000 t を超過出來ざる筈。

(11月26日發信) 市況は不相變一般買手筋の買控へのため閑散を極め、各工場共漸く既註文品納品後の入註なく、前途悲觀し居り買手は尙公定値段引下を狙ひ居るも、共販側は既報の通り相場維持を聲明し居る一方、佛國筋將又米國メーカーの安値に苦しみ居る有様に御座候。豫定の通り23日巴里に於ける共販委員會にて問題となり、米國筋並に歐洲アウトサイダー側と協定の手筈と決定せる由。

只半製品工場は英國筋の買附不相變衰へざるため獨り活氣に満ち居候。

歐洲カルテルと汽船會社連賃同盟 (Far Eastern Conference Line) との契約本年末滿期の處更らに6ヶ月延長6月末迄現契約有效的取極め有之候。

### 東西市況一強調

「事實上の陥落」と云ふ言葉が出て來た。街々には遅早く「祝南京陥落」と大書した幟が見られる。

ビル街、商店街は國旗を張り繕らし、各團體は提燈と手旗を準備して、陥落公報の到るや遲しと待てゐる。

之れは躍進日本大進軍謳歌の姿である。

株式市に於ては、殊に人氣を映す事の激しい新東は、此の事を既に織り込んで早くも戦勝相場を出してゐたので、昨今は反動安を示現してゐるが、それまでは連日奔騰復奔騰を續け、昭和9年以來の新値に吹き上げて、近來の鬱氣を拂ひ、國威の伸張を壽ぎ、恰も經濟界の思ひを代辯するが如き觀を呈した。

事實是れは刻下經濟界大部分の心願であつて、其の言ひ得ざる處を新東が端的に表現したので、經濟界と言はず、國を擧げて大ひに此の大躍進を謳歌するは勿論である。

鋼材市場も夙に品切物續出の状態で、他意無くしてデリ高を辿らざるを得なかつた處へ、昨今は環境が絞上の如き推移を示したので、主觀的には需給の關係上致し方無しとされる程度に硬化するか、若くは強含保合を示して、大進軍謳歌の驟尾には附してゐる。

斯くて鋼材市況は底意聴りであるが、仕手關係が大ひに影響するとは云へ、新東が戦勝を宇頂天に買へず、直ちに反落した事が示す如く、今日の情勢には國威の伸張は大ひに慶祝するも、自由奔放は慎まねばならぬ幾多の事情、事象が有るので、殊に鐵鋼界は重大使命を帶びてゐるので、強調を示してはゐるが、鋼材市場は自戒、自肅して大過無きを期してゐるやうである。

極端なる品拂底に依て、需給の均衡を失してゐる鋼材市場が、此の際騰勢を今日の程度に止めてゐる努力は多とせねばならない。

別表相場表に35圓とか、或は又それ以上の成行を見るが、夫れ

等は殆ど品切れ状態で、實は相場を誌すのが無理なのである。中には全々切物もある。手持筋一二店が其の値段で極少量を手放したかも知れぬが、大部分は實際的には關知せず、商内をせぬ相場なのである。

大分ノミナルが増加したので如何にも硬化したやうに見へるが、主觀的應分の値頃に止まつてゐると言へぬ事はない。多少共不自由の無い手持状態となるならば適當の値頃を唱へたいのは山々なのである。

市場は確に自重してゐる。相當高値なので其の位置の如何に就ては論議の餘地が有るとは云へ大阪方面市場人間に於て最高値段が取り決められたと云ふ。又東京に於ても改めて再び近く何等かの意思表示が成されるやうな氣配もある。

誠に結構な事である。要するに鋼材市況はそれ自體の需給關係から底意を固め、時勢に押され、大勢に推されてデリ高を重ねたが、大方大ひに自戒、自肅してゐるので大過無く主觀的には應分の値頃を抜かずと云ふべきか。

### 自重申合せ—騰勢一服

消費節約の折柄過般比較的手當買を爲された事とて其後は需要一服の模様である。年末と云ふ事も影響して手當控へとなつてゐる。斯くて確に需要一服には相違無いが、元々商内が活潑と云ふのではなかつたので昨今の入用減は實は取り立てゝ言ふべき程のものではないのである。一方今日の市況構成の基調を成す市中在庫は益々拂底を告げてゐる。即ち最近の堅調を持続せしめてゐた時と經濟的事情の大勢は不變なのである。從て14,5日までは全般的に強含でデリ高を示してゐた。

然る處時勢がバツクとなつて改めて相場に對する考慮を要する事となり、去る16,7兩日に亘つて市場人の集販會メンバーに依て自重値段が検討され、大形物、ベース・アングル、3.2mm以上の鋼板、中丸、中角、角、平の賣値を成るべく24,5圓見當に落ちつけ、最高30圓を抜かず、ベース丸の目標を22圓50錢捌に置くと云ふ申合せが爲されたので、總てが即座に之に向て實際に突進したのではないが、少くとも昂騰氣勢は止り、同時に今迄はノミナルを35,7圓調と見る事が實際に適應してゐたものが、17日を境としてノミナル30圓と見た方がよいと云ふやうな狀態となつた。

由て、別表相場表を見ると數字の上に於ては前旬と明に差異を現はしてゐる物が有るが、之は現實に暴落したのではない。取引されたとしても稀に極く少量が取引された所謂無物高物が、標準値段、氣分値段を出したが爲に差異を現したのであるから實質的に數字が表現する程の變動が有たのではない。尤も統制そして自重と云ふ際であるから確に騰勢は一服した模様である。

然しながら度々誌すやうに、根幹を成す品物が極端に拂底してゐるので底意は頑健で昨今では未だ申合せ値段の最高は抜き相になるが、最低に近づくと云ふ事は仲々むづかしいと云ふ商狀を持してゐるやうである。

斯くて市場は鐵鋼飢餓に明け、日支事變と云ふ未曾有の重大時局の影響に依て今復鐵鋼飢餓を持續して越年する事となつたが、他動的に餘儀せられた點は有るとしても、市場はよく此の間に處して自肅、自戒し、大過無く終始したものである。相場はよくても、種々なる點に於て鋼材市場は今後も當分は時局の影響を大ひに受けねばならぬやうである。尙ほ關心の的であり、責任の有る立場でもあるから或る意味に於て益々多事多端と云へる。此際市場人が申合せを行ひ、大ひに努力してゐることは誠に結構な事である。

國威伸張の前には相當の犠牲は止むを得ない。それが復市場の依て生きる道もある。此時に當り市場に自重氣運が濃化して此の銘記すべき歳を少く共汚辱せず、おしろ掉尾を完ふして送り得る事は誠に喜ばしき限りである。尚ほ今後益々善處して錦上更に花を添へて戴き度いものである。

終りに臨み、今年も亦終始本旬報の爲に惜しみ無く貴重なる時間を割愛され、貴重なる資料を提供されし各位に對し厚く謝意を表し併せて多幸なる年を迎へられん事を祈つて止まない。

## 東京大阪市中相場表

上旬 {東京 12月9日  
大阪 12月8日 中旬 {東京 12月20日  
大阪 12月20日 下旬 {東京 一月一日  
大阪

	上旬		中旬		下旬	
	東京	大阪	京東	大阪	東京	大阪
丸 鋼						
6mm	24'20	24'30	25'00	25'00		
9	24'80	24'50	24'80	"		
12	24'50	24'40	24'50	24'60		
19	22'50	22'50	22'30	22'70		
25	"	"	"	"		
50	30'00	31'00	30'00	31'00		
65	32'50	31'30	"	"		
130	33'00	33'00	34'00	"		
150	"	"	"	"		
200	37'00	37'00	37'00	"		
角 鋼						
9mm	26'00	25'30	26'50	25'80		
12	26'80	25'50	26'80	"		
16	26'00	23'60	26'50	24'00		
19	"	25'10	"	25'30		
38	28'00	26'00	28'00	26'70		
50	29'00	30'00	29'00	30'00		
65	30'00	31'00	30'00	"		
100	32'00	34'00	"	"		
平 鋼						
3x 25	27'00	25'80	27'00	26'50		
6x 19	27'50	26'40	28'00	26'80		
6x 25	28'00	25'70	"	26'50		
6x 38	25'50	25'00	27'00	25'50		
6x 50	26'50	24'80	"	25'30		
6x 75	"	"	"	"		
9x 100	"	"	26'50	"		
12x 100	"	"	"	"		
等邊山形鋼						
3x 20x 20	37'00	34'00	37'00	34'00		
3x 25x 25	"	32'00	"	33'00		
5x 40x 40	26'00	26'00	27'00	30'00		
6x 45x 45	24'50	24'00	24'00	24'00		
6x 50x 50	26'00	26'30	26'00	27'00		
6x 65x 65	23'50	24'50	23'50	24'50		
9x 75x 75	"	"	"	"		
9x 130x 130	29'00	28'50	29'00	28'00		
12x 130x 130	"	"	"	"		
15x 150x 150	28'50	"	28'50	"		
不等邊山形鋼						
9x 50x 75	27'50	28'00	27'50	30'00		
10x 75x 100	26'50	27'30	26'50	27'00		
10x 90x 125	"	26'50	"	"		
9x 100x 150	28'50	28'30	28'50	27'50		
12x 100x 150	"	"	"	"		

上旬 東京 大阪 中旬 東京 大阪 下旬 東京 大阪

mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
5×50×100	35'00	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00
6×65×125	"	"	"	"	"	"
6.5×75×150	"	"	"	"	"	"
7.5×80×200	"	"	"	"	"	"
9×90×250	"	"	"	"	"	"
10×90×300	"	"	"	"	"	"

mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
5.5×75×150	33'00	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00
7×100×200	"	"	"	"	"	"
10×125×250	"	"	"	"	"	"
8×150×300	"	"	"	"	"	"
12×150×350	"	"	"	"	"	"

mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm
1.6×3'×6'	29'00	29'00	29'00	29'00	29'00	29'00
1.6×4×8	"	"	"	"	"	"
1.6×5×10	35'00	30'00	35'00	30'00	35'00	30'00
2.3×3×6	30'00	29'50	31'00	29'50	31'00	29'50
2.3×4×8	33'00	"	34'00	"	34'00	"
2.3×5×10	35'00	34'00	35'00	34'00	35'00	34'00
3.2×3×6	33'50	32'00	33'00	32'00	33'00	32'00
3.2×4×8	33'00	"	"	"	"	"
3.2×5×10	35'00	30'00	35'00	30'00	35'00	30'00
4.5×3×6	31'00	29'50	31'00	29'50	31'00	29'50
4.5×4×8	30'00	"	32'00	"	32'00	"
4.5×5×10	32'00	"	32'00	"	32'00	"
6.0×4×8	30'00	"	30'00	"	30'00	"
6.0×5×10	"	29'00	"	29'00	"	29'00
9.0×4×8	27'50	27'50	27'50	27'50	27'50	27'50
9.0×5×10	"	"	"	"	"	"
12+4×8	"	"	"	"	"	"

川崎 帰幡 1'03 1'25<sup>b</sup> 1'01 99

英	米	八幡	W.W. 200薄口
{170 <sup>bds</sup> 200	{170 200	41'00 40'00 42'50 41'50	40'50 39'90 42'00 40'40
		41'00 39'00 42'50 40'00	40'50 40'00

B.W.G. #5 210'00 245'00 215'00 250'00

備考　単位 100 kg につき（置場値段）但し薄板は一枚當り　線材は延長當り　ブリキは1函當り